

7月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡。やや生育遅れも見込まれるが、概ね新盆需要に合わせた出荷となる。静岡産はやや作付け量が減少。
	黄・赤菊	静岡、愛知中心。白菊同様の生育状況。出荷のピークは8日頃で、静岡産の作付け量はやや増加。赤菊は例年並みで、少な目の作付け量となっている。
小菊		福島、茨城、静岡、長崎など。高冷地産は生育の遅れが見込まれる。全体的にやや少な目の作付け量となっている。出荷のピークは8日、11日頃。
SPマム		愛知、静岡、栃木、福島中心の出荷。夏系品種にほぼ切り替わる。作付けは昨年並みで、上旬からやや増加してくる。
バラ		スタンダードは山形産メインの出荷。数量は例年通り。
カーネーション		北海道、長野中心の出荷。6月下旬～7月上旬にかけ、特にスプレーの数量が増えてくる見込み。スタンダードの作付けは昨年よりやや増加している。
かすみ草		福島・山形・北海道中心の入荷だが、例年より1～2週間程遅れている。
リシアンサス		東北、長野中心の出荷。定植は昨年並みだが、天候次第で増減あり。
ユリ	オリエンタル	埼玉、新潟の平場が、例年通り数量多い見込み。高知等、西南暖地は出荷を終了し、新潟の山手のハウス物が増えてくる。6月上旬の低温の影響により、全体的に生育は遅れ気味になりそう。
	鉄砲	長野中心に新鉄砲ユリが始まる。数量は例年並みで多くない。
洋ラン類		・オンシジューム 国産、輸入潤沢。・カトレア 少なめ。・シンビジューム、ファレノ 輸入中心の出荷。 ・デンファレ 徐々に国産の数量が増える見込み。・その他 レナンセラやモカラは出荷量が横ばいとなる。
季節もの		・クルクマ 例年より各産地生育遅れ気味となっている。7月には潤沢な出荷となる見込み。 ・ほおずき 大分、静岡産共に生育良好。・蓮は水温が低い産地も有り、花の出荷少なめの見込み。開葉は競り出荷少ない。 ・グラジオラス 茨城産5月の遅れ分が、6月下旬から7月にかけて揃う。長野産も始まり順調入荷。